情報提供資料
2013年4月11日
Market eyes No.78
Daiwa Asset Management

世界経済で重要性が高まる『豪ドル』『カナダ・ドル』

◎ 拡大する世界の外貨準備高

- 【図表1】は世界各国の外貨準備高の総額の推移である。外貨準備高は2000年～2012年の間に5倍以上の規模に拡大しており、外国為替市場における影響力が高まっている。
- 外貨準備高とは、各国の通貨当局（中央銀行・政府）が保有する外貨建て資産のことであり、対外債務の返済のほか、急激な為替の変動を制御する為替介入のための準備金である。外貨準備高の中で最も大きなウエイトを占めるのが外国証券（主に債券）、外貨建て預金である。
- 各国が保有する外貨準備の通貨別構成比率がIMF（国際通貨基金）から公表されている。公式準備通貨の5通貨『米ドル』『ユーロ』『日本円』『英ポンド』『スイス・フラン』は通貨別に公表され、それ以外の通貨は『その他通貨』として合算されている。

◎ 通貨の位置づけ高まる『豪ドル』『カナダ・ドル』

- 【図表2】は通貨別構成比率の推移である。2008年の米国金融危機、2010年の欧州債務危機以降、『米ドル』『ユーロ』のシェアが低下傾向にあり、『その他通貨』のシェアが上昇傾向にある。2012年の『その他通貨』のシェアは6.1%と、2007年の1.8%から約3.4倍に拡大し、過去最高を記録した。直近発表された2012年10～12月の世界の外貨準備高の増加額（前期比）を通貨別にみると、『米ドル』が315億ドル、『ユーロ』が206億ドル、『その他通貨』は301億ドルと、『米ドル』に肩を並べる増加額となった。**『その他通貨』の大きなシェアを占めるのが『豪ドル』と『カナダ・ドル』である。**
- 金融危機以降、『豪ドル』と『カナダ・ドル』は信用格付けが高く（トリプルA）、利回りも高いことから、海外投資家の間で選好されているようだ。昨年11月にIMFは、2013年の早い段階に『豪ドル』と『カナダ・ドル』を公式な準備通貨として認める方向で検討していると発表した。世界経済における両通貨の重要性が高まることになりそうだ。

【図表3】豪ドル為替（対米ドル、対円）の推移
【図表4】カナダ・ドル為替（対米ドル、対円）の推移

【図表1】 各国の外貨準備高の総額の推移

【図表2】 通貨構成比率の推移

（2007年～2012年、%）

	'07	'08	'09	'10	'11	'12
米ドル	64.1	64.1	62.0	61.8	62.3	61.9
ユーロ	26.3	26.4	27.7	26.0	24.7	23.9
日本円	2.9	3.1	2.9	3.7	3.6	3.9
英ポンド	4.7	4.0	4.2	3.9	3.8	4.0
スイス・フラン	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
その他通貨	1.8	2.2	3.1	4.4	5.4	6.1

【図表3】 豪ドル為替（対米ドル、対円）の推移

【図表4】 カナダ・ドル為替（対米ドル、対円）の推移

（出所）IMF、ブルームバーグ

※次ページの「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご覧下さい。

投資信託の留意点

以下の記載は、金融商品取引法第 37 条により表示が義務付けられている事項です。お客さまが実際にご購入される個々のファンドに適用される費用やリスクとは内容が異なる場合がありますのでご注意ください。ファンドにかかる費用の項目や料率等は販売会社や個々のファンドによって異なるため、費用の料率は大和投資信託が運用する一般的なファンドのうち、徴収するそれぞれの費用における最高料率を表示しております。また、特定ファンドの取得をご希望の場合には、当該ファンドの「投資信託説明書（交付目論見書）」をあらかじめ、または同時にお渡しいたしますので必ずご覧いただき、投資に関する最終決定はお客さまご自身の判断でなさるようお願いします。

お客さまにご負担いただく費用　ファンドのご購入時や運用期間中には以下の費用がかかります。

直接的にご負担いただく費用

購入時手数料	料率の上限は、3.15%（税込）です。
換金手数料	料率の上限は、1.26%（税込）です。
信託財産留保額	料率の上限は、0.5%です。

保有期間中に間接的にご負担いただく費用

運用管理費用（信託報酬）	費用の料率の上限は、年2.121%（税込）です。
その他の費用・手数料	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。（その他の費用・手数料については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。）

※ 手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
※ ファンドにより異なりますので、詳しくは販売会社にお問い合わせください。
※ 詳細につきましては、「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドのリスクについて

ファンドは値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。また、新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。リスクの要因については、ファンドが投資する有価証券等により異なりますので、お申し込みにあたっては、ファンドの「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

大和投資信託
Daiwa Asset Management

〈委託会社〉
商 号 等　大和証券投資信託委託株式会社
　　金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第352号
加入協会　一般社団法人投資信託協会
　　一般社団法人日本投資顧問業協会

当資料のお取扱いにおけるご注意

◆当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として 大和証券投資信託委託株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

◆当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。